



有中だより

後悔しない進路選択を！

10月15日（木）、3年生及び3年生保護者を対象に高等学校説明会を開催しました。当日は今年から大幅に変更されている入学者選抜の要領等の説明とともに、南島原・島原市内の公立高等学校（口加、島原翔南、島原、島原農業、島原工業、島原商業）の先生方に学校の特色等について説明していただきました。

現在、新しい価値を創造できる人材や、困難なことに果敢にチャレンジできる人材の育成が求められています。また、本県においては、地域活性化に貢献する人材の育成への期待も大きいものがあります。これらを踏まえ、各高等学校が示す求める生徒像をもとに、生徒が主体的に学校を選ぶことができ、生徒の学ぶ意欲や多様な能力が評価される入学者選抜となるよう改善されました。その主な内容は次のとおりです。

- 「推薦入学者選抜と一般入学者選抜」から「前・後期入学者選抜」に変更された。
- 前期選抜の選抜方法は各高等学校で選択し、実施される。
- 従来一般入学者選抜で実施されていた志願変更並びに学力検査（数学・英語）の難易度の異なる選択問題が廃止された。

南島原・島原市内公立高等学校6校の募集定員、選抜方法等は以下のとおりです。

学校	学科 〔コース〕	募集定員 (人)	前期選抜				後期選抜		
			募集定員 (人)	割合 (%)	選抜区分	検査の方法等	B選抜 募集定員	募集定員 (人)	割合 (%)
島原	普通	200	50	25	A特色	基礎学力、面接	12名 以内	150	75
					B文化・スポーツ	面接			
	理数	40	10	25	A特色	基礎学力、面接			
					B文化・スポーツ	面接			
口加	普通 〔普通〕	54	10	19	A特色	基礎学力、プレゼン	6名 以内	44	81
					B文化・スポーツ	基礎学力、面接			
	普通 〔グローバル〕	40	8	20	A特色	基礎学力、プレゼン			
					B文化・スポーツ	基礎学力、面接			
	福祉	26	13	50	A特色	基礎学力、プレゼン			
					B文化・スポーツ	基礎学力、面接			
島原 農業	3学科	各40 計120	各20 計60	50	A特色	基礎学力、面接	6名 以内	各20 計60	50
					B文化・スポーツ	基礎学力、面接			
島原 工業	3学科	各40 計120	各20 計60	50	A特色	基礎学力、面接	6名 以内	各20 計60	50
					B文化・スポーツ	基礎学力、面接			
島原 商業	商業 情報処理	各40 計80	各20 計40	50	A特色	基礎学力、面接	6名 以内	各20 計40	50
					B文化・スポーツ	面接			
	家政	40	20	50	A特色	基礎学力			
					B文化・スポーツ	面接			
島原 翔南	総合	80	40	50	A特色	基礎学力、面接	8名 以内	40	50
					B文化・スポーツ	面接			

～市駅伝大会で優勝～

10月6日（火）諫早市トランスコスモスタジアム長崎を発着点とする県立運動公園内周回コースで行われた市中総体駅伝大会で、本校女子チームが南島原市発足以来初めての優勝を飾りました。また、男子チームも自己の持てる力を十分に発揮し、4位に入賞しました。女子チームは、11月5日（木）に行われる県大会に出場します。健闘を祈ります。

駅伝大会以外でも本校生徒の活躍が目立ちます。以下は先日行った表彰伝達者です。

<市中総体駅伝大会>

団体女子優勝（渡部凧沙、渡部歩実、松山綾香、松嶋紫音、伊藤瀬那）

区間賞（2区） 渡部歩実

区間賞（5区） 伊藤瀬那



<市新人大会軟式野球競技>

準優勝 有家中学校

<市ソフトテニス夏季大会（1年生の部）>

第3位（男子） 伊藤昌道・小谷大輝ペア

<島原半島カップ争奪バレーボール大会>

第3位（男子） 有家・南串中学校（合同チーム）



11月の行事予定

1	日	
2	月	
3	火	文化の日
4	水	ノ一部活動
5	木	県駅伝大会 3年三者面談
6	金	3年三者面談
7	土	
8	日	
9	月	3年三者面談
10	火	3年三者面談
11	水	3年三者面談 ノ一部活動
12	木	3年三者面談
13	金	3年三者面談
14	土	
15	日	家庭の日 ノ一部活動
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	部活動中止
20	金	部活動中止
21	土	部活動中止
22	日	部活動中止
23	月	勤労感謝の日 部活動中止
24	火	期末テスト 14:00下校 部活動中止
25	水	期末テスト 14:00下校 部活動中止
26	木	期末テスト
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

※行事は変更になる可能性があります。

<校長室の窓から>

『親父の小言』をご存じでしょうか。ご存じない方でも、「火は粗末にするな」「朝機嫌よくしろ」「人には腹を立てるな」「人に馬鹿にされていよ」「家業は精を出せ」「年寄りをいたわれ」…。これらの言葉が全国の土産物の壁掛けや湯飲みなどに書かれ、売られているのを見た方は多いと思います。これは、福島県のあるお寺の住職が、33歳の時親からの小言を思い出して書いた45の文章がもとになっているそうです。昭和30年代の半ば、この小言のある商店が商品にして売り出したのをきっかけに、評判が評判を呼んで全国に広がったと聞いています。途中、新たな語句が加わったり、逆に本来の言葉が削られたりと、当初の言葉とは随分異なるものになっているそうですが、小言が広がったのは、何か人々の琴線に触れるものがあつたからだと思います。

親が子どもに小言を言うのは多いと思うのですが、大人になるまでなかなか覚えていないものです。将来生きていく上での指針となるような、大人になっても忘れない「小言」が言える親になりたいものです。